

平成20年 月

団体各位

技能検定の見直しに向けた調査のご協力をお願い（案）

技能検定は、昭和34年から実施されており、これまで多くの方に利用・活用され、主に産業の場において確固とした評価を確立している国家検定です。

この度、厚生労働省では、技能検定制度をよりよいものとするを目的に、**職種毎**に制度の活用状況等を把握することといたしました。

つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、当該調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<ご記入に際しての注意事項>

1. 本調査は、貴団体に協力を得て実施している技能検定の職種に関する調査です。複数の職種に協力していただいている団体は、職種毎に回答ください。
2. 質問の番号順にご回答ください。
3. 選択肢が用意された質問につきましては、該当する番号にチェックをしてください。
4. 記入欄がある質問につきましては、当該欄に内容を簡潔にご記入ください。
5. 回答していただいた調査票は、「技能検定試験アンケート調査」とともに同封の返信用封筒に入れて平成20年度8月〇日（〇）までにご返送くださいますようお願いいたします。
6. 本調査に関して不明な点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせください。

厚生労働省 職業能力開発局 能力評価課
〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
TEL：03-5253-1111（内線5944）
FAX：03-3502-8932
担当：技能検定班 中西、高橋

団体名	
記入担当者名	
電話番号	

_____ 職種の技能検定について、次の間にお答えください。

問1 貴団体は、実技試験の実施に協力していますか。

<input type="checkbox"/> 1 協力している。	→ 下記問2へ
<input type="checkbox"/> 2 協力はしていない。	→ 下記問4へ

問2 貴団体が、実技試験実施に協力している内容について、該当するものすべてにチェックを入れてください。

<input type="checkbox"/> 1 検定委員を派遣している。
<input type="checkbox"/> 2 補助員を派遣している
<input type="checkbox"/> 3 試験のための会場・設備の貸与又は便宜供与
<input type="checkbox"/> 4 試験のための材料の貸与又は便宜供与
<input type="checkbox"/> 5 試験準備・片付けを行っている。
<input type="checkbox"/> 6 試験の架台を預かって保管している。
<input type="checkbox"/> 7 その他（具体的にお書きください。） ()

問3 貴団体が、実技試験の協力のための費用について、調査したことがあれば、その金額を教えてください。

約 _____ 万円（年間）

（注）なお、費用の内訳等の資料があれば添付して下さい。

問4 貴団体の関係職種が技能検定として存在しているメリットについて、どのように考えているか教えてください。

（裏面の記入もお願いします）

〈貴団体の傘下企業について質問します。〉

問5 技能検定を受検（または合格）する従業員等のため、企業が支払ってもよいと考えている費用は、1人当たりどの程度と考えられますか。

※会社で支払っている受検料、受検準備のための講習会等の直接経費ほか受検のための訓練、休暇の付与等の費用も勘案してください。

約	万円
---	----

問6 従業員が技能検定を受検（または合格）した場合、企業のメリットは何であると考えられますか。該当するものすべてにチェックを入れて下さい。

<input type="checkbox"/> 1 担当業務に関する専門的な知識・技能が身につく。
<input type="checkbox"/> 2 企画・立案能力が身につく。
<input type="checkbox"/> 3 目標を与えることにより専門性に対する従業員の意欲が高まる。
<input type="checkbox"/> 4 従業員の職業能力を判定する評価基準となる。
<input type="checkbox"/> 5 社内における技能継承ができる。
<input type="checkbox"/> 6 対外的にアピールできる。
<input type="checkbox"/> 7 法規対応上、技能検定合格者が必要である。
<input type="checkbox"/> 8 取引上、技能検定合格者が必要である。
<input type="checkbox"/> 9 その他（具体的にお書き下さい。）
（

ご協力ありがとうございました。